

初級日本語学習者のための 副詞90語の選定

—日本語母語話者の
副詞の使用実態を通して

島崎英香

◆要旨

副詞は、物事や話し手の気持ちを詳しく表現するだけでなく、会話を活性化させたり、やわらげたりする等の様々な働きを担い、コミュニケーションを円滑に運ぶという利点がある。本稿では、初級日本語学習者にとって必要だと考えられる90語の副詞を選定するに至る経緯を説明する。選定のため、まず、7種14冊の初級日本語教科書、『日本語能力試験出題基準 改訂版』、『日本語話し言葉コーパス』(CSJ)の対話から副詞を抽出し、一覧表を作成した。次に、一覧表の副詞512語をレベル別(初級・初中級・中級・上級)に振り分けるために日本語教師11名にアンケート調査を行った。これらのデータから最終的に初級日本語学習者のために90語の副詞を選定した。

◆キーワード

初級日本語学習者、副詞、選定、使用実態、コミュニケーション

◆ABSTRACT

An adverb expresses a matter and a speaker's feeling conversantly, activates conversation, and has an advantage for relaxing and carrying communication smoothly. The process for selecting the 90 adverbs are needed for beginner's course Japanese learner is explained. Beginner's class Japanese textbooks of seven kinds of 14 books, and dialogues of "the Japanese language proficiency test questions reference Revised edition" and "Corpus of Spontaneous Japanese" (CSJ) were first selected and a list was made. Next a questionnaire survey was performed for 11 Japanese teachers to divide 512 adverbs and make level differences (the beginner's course, entry and intermediate level, intermediate level and upper grade). 90 adverbs were selected for a beginner course Japanese learners finally from these data.

◆KEY WORDS

beginner course Japanese learner, adverb, selection, actual status of use, communication

Selection of 90 Adverbs
for a Beginner's Course
Japanese Learners
Through the use actual of the situation
of the adverbs by Japanese mother tongue speakers
HIDEKA SHIMAZAKI

1 はじめに

副詞は、文においては必須の要素ではないため、教師も副詞の導入・定着に積極的であるとは言い難い。しかし、中田（1991）によると副詞は、「話者の心的態度の強調、会話のやわらげ、ぼかし、間つなぎとして使用されたりするなど、実際の言葉のやり取りにおいて様々な機能を持っている」とされている。学習者が副詞を習得すれば、豊かな表現ができるだけでなく、コミュニケーションをより円滑に進めることができるのではないだろうか。大関（1993）は、教科書における副詞の調査を行い、副詞がその指導を目的に提出されているわけではないことを指摘した上で、学習者に有用な副詞を選定し、意識的に学習項目として提示する必要があると述べているが、副詞選定には至っていない。本研究では初級学習者のために初級教科書、『日本語能力試験出題基準改訂版』（以下『出題基準』）、母語話者の使用実態を参考に重要な副詞を選定したい^[注1]。

2 研究方法とデータ

副詞選定のため、まず7種14冊の初級日本語教科書から副詞を収集^[注2]、次に『出題基準』の副詞（1級から4級）を加えた。さらに日本語母語話者の使用実態を調査するため国立国語研究所の『日本語話し言葉コーパス』（以下CSJ）から副詞を抽出した。また、CSJにおいては独話ではなく対話コーパス（学会講演・模擬講演に関するインタビュー、課題指向対話、自由対話）から副詞を取り出した^[注3]。CSJを使用することにより日本語母語話者の対話における副詞の使用頻度が明らかになったが、初級レベルに相応しいか否かの問題がある。そこで、初級教科書、『出題基準』、CSJから収集した512語の副詞（異なり）をレベル別に振り分けてもらうため日本語教師にアンケート調査を行った。アンケートは、教師歴3年以上の日本語教師11名を対象に、初級教科書7種14冊から収集した副詞、『出題基準』から収集した副詞、CSJから収集した副詞512語をランダムに並べた一覧表から、初級教科書に掲載されている、いないにかかわら

ず、「初級（N4・5程度）・初中級（N3程度）・中級（N2程度）・上級（N1程度）・その他（超級）」に分類してもらった。これらの結果を基に副詞を選定した。

2.1 初級日本語教科書の副詞

初級教科書は初級学習者のための実践的会話力の養成を目的としていると考え、7種14冊の初級日本語教科書から副詞を収集した。その結果、教科書の副詞の異なりの語数は119語となった（表2）。教科書の副詞の異なりの平均は62語、教科書の副詞の割合の平均は全体の3%であった（表1）。7種全ての教科書に掲載されている副詞は20語で、教科書全体の副詞の17%であった。1種の教科書のみに掲載されている副詞は40語で全体の34%であった（表2）。

表1 7種の初級教科書の副詞

	副詞 (異なり)	総語数 (異なり)	割合 (%)
みんな	65	1,980	3.28%
新文化	57	1,900	3.00%
げんき	58	1,700	3.41%
できる	65	1,800	3.61%
大地	52	1,900	2.74%
学ぼう	71	3,300	2.15%
はじめて	64	2,300	2.78%
平均	62	2,126	3.00%

表2 7種教科書の副詞の一致数と割合

教科書の 重なり(種)	全語数 (語)	割合 (%)
7種一致	20	17%
6種一致	15	13%
5種一致	7	6%
4種一致	11	9%
3種一致	8	7%
2種一致	18	15%
1種のみ	40	34%
全体	119	100%

2.2 母語話者の副詞の使用実態と初級教科書の副詞

母語話者が実際にどのような副詞をどのくらい使用しているのかという調査をするために、CSJを使って母語話者の副詞の使用実態を調査した。収集データは、延べ語数8320語、異なり語数248語である^[注4]。CSJ（対話）から取り出した副詞248語と7種の初級教科書の副詞の一致率を見てみた。図1にあるように7種から4種まで共通の副詞とCSJとの一致率は、7種共通の副詞で90%、6種66.7%、5種71.4%、4種90.9%であり、4種から7種までの副詞53語では81.1%と比較的高い。しかし2種は66.7%となっているものの3種共通の副詞と

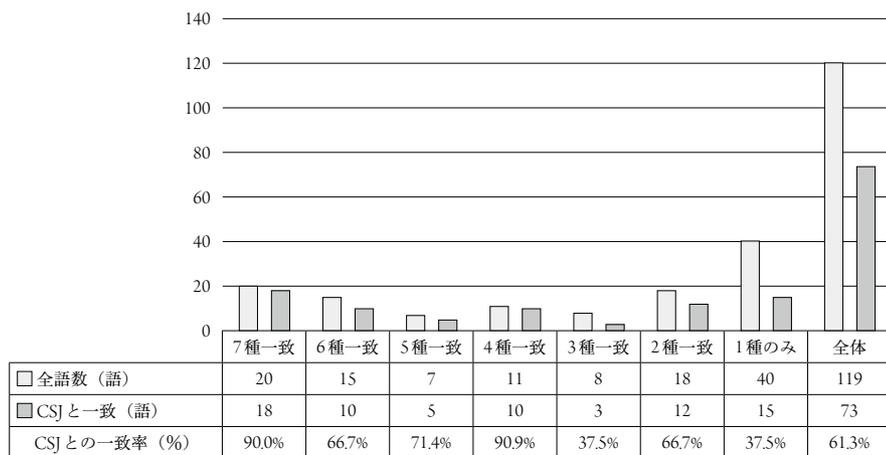


図1 7種の教科書とCSJの副詞の一致率

1種のみ教科書では37.5%となっており、全体では、教科書とCSJの一致率は61.3%にとどまっていることがわかる。

2.3 日本語教師へのアンケート調査の結果

アンケート調査は、11名分を512語の副詞毎に集計し、さらに初級5点、初中級4点、中級3点、上級2点、超級を0点とし、副詞一語毎に集計した。それから合計点をそれぞれ得点化し、その合計を点数の高い副詞から順に並べ表を作成した。

表3は、アンケート結果に『出題基準』の級を当てはめた表である^[注6]。アンケートの結果をしてみると、1・2位は4級の副詞のみで占められていることがわかる。しかし、同点3位から『出題基準』の2級の副詞「いつか」が出現し、3位以下では、2級の副詞が徐々に増加し始めている。また1級の副詞である「さきに」も同点9位に選ばれている。2級の副詞のどのような語が高得点を得ているかを見てみると「いつか (2位)、なにも (5位)、いつでも (6位)、ぜったいに (7位)」「がっかり、きちんと、そのまま、まったく (8位)」「いつまでも、そっくり、ちゃんと、なんで、まあまあ (9位)、なんでも (10位)」が続く。ア

表3 日本語教師への副詞アンケート結果 (一部抜粋)^[注5]

順位	アンケート結果	合計	級	順位	アンケート結果	合計	級	順位	アンケート結果	合計	級
1	いちばん	55	4	3	いつか	53	2	5	もう	51	4
1	すこし	55	4	3	いっぱい	53	3	6	いっしょうけんめい	50	3
1	どうして	55	4	3	いつも	53	4	6	いつでも	50	2
1	とても	55	4	3	すぐ	53	4	6	かならず	50	3
2	あまり	54	4	3	ときどき	53	4	6	これから	50	一
2	いろいろ	54	4	3	また	53	4	6	ずっと	50	3
2	ぜんぶ	54	4	3	もし	53	3	6	たいへん	50	4
2	たくさん	54	4	3	もっと	53	4	6	ちょうど	50	4
2	たぶん	54	4	4	ぜんぜん	52	3	6	まず	50	3
2	ちょっと	54	4	5	きっと	51	3	6	もちろん	50	3
2	どうぞ	54	4	5	だいたい	51	3	7	さっき	49	3
2	まだ	54	4	5	なにも	51	2	7	ぜったいに	49	2
2	ゆっくり	54	4	5	はじめて	51	4	7	そう	49	3
2	よく	54	4	5	びっくり	51	3	7	たとえば	49	3

ンケート結果からは、『日本語能力試験』のレベルに関わらず、日本語教師がこれらの副詞を初級レベルである、もしくは初級から教えるべきであると判断したということが示唆されたのではないだろうか。

3 選定の方法

3.1 選定の目安

全語数において副詞の占める割合は、7種14冊の初級教科書では平均約3%である(表1)が、『出題基準』3・4級では約4.3%となっており(表4)、CSJでは5.4%となっていた(表5)。このことから、少なくとも初級学習者に必要な副詞は、4.3%から5.4%程度になるのではないかと考え、初級レベルに必要な総語彙数を2000語として、選定する副詞の目安を90語とした。

表4 『出題基準』の副詞の割合

級	副詞	語数	割合 (%)
1	120	2974	4.0%
2	203	3626	5.6%
3・4	61	1409	4.3%

表5 『話し言葉コーパス』(CSJ)の品詞

品詞	語数	使用率 (%)
名詞	3212	70.38%
動詞	633	13.87%
副詞	248	5.43%
形容動詞	234	5.13%
形容詞	116	2.54%
感動詞	50	1.10%
代名詞	36	0.79%
接続詞	18	0.39%
連体詞	17	0.37%
全数	4564	100.00%

3.2 選定の手順

ここでは選定の手順を示したい。まず7種の初級教科書全てに掲載されている副詞、CSJの副詞、『出題基準』3・4級の副詞で共通する副詞を18語収集した。この18語は、初級において最も重要な副詞だといえよう。この要領で、以下、CSJ、『出題基準』3・4級と6種から1種のみ教科書に共通する副詞を順に収集していった(表6)。以上、第一期では、①から⑦の段階を経て、49語を選定した。

表6 副詞の選定・第一期

①	CSJ・『出題基準』3・4級・教科書7種共通の副詞	あまり、すぐ、ずっと、ぜひ、ぜんぜん、だいたい、たくさん、ちょっと、どう、ときどき、とくに、とても、まず、また、まだ、もう、もっと、ゆっくり	18語
②	CSJ・『出題基準』3・4級・教科書6種以上共通の副詞	ずいぶん、すこし、そう、そろそろ、たぶん、だんだん、どうぞ、なかなか、もちろん、よく	10語
③	CSJ・『出題基準』3・4級・教科書5種以上共通の副詞	かならず、たいてい、ちょうど、はっきり、もし	5語
④	CSJ・『出題基準』3・4級・教科書4種以上共通の副詞	いちばん、きっと、しばらく、だいが、ほとんど、やっとな、やっばり、	7語
⑤	CSJ・『出題基準』3・4級・教科書3種以下共通の副詞	たいへん、たまに	2語
⑥	CSJ・『出題基準』3・4級・教科書2種以下共通の副詞	いくら、いろいろ、しっかり、たとえば、どんだん、はじめて	6語
⑦	CSJ・『出題基準』3・4級・教科書1種以下共通の副詞	なるべく	1語

第二期では、1) CSJから第一期でまだ選ばれていない副詞を高頻度順に収集し、アンケート結果の43点以上の副詞と一致したものを収集した^[註7]。次に2) アンケートで過半数6名以上が初級として選んでいる副詞とCSJでの一致する副詞を見てみたところ、すでに全て選ばれていた。そこで、3) まだ選定されていないが、アンケートで過半数の人が初級としていた副詞を、超級や上級でも選ばれているものは除いた上で収集し、最終的に41語を選定した。

4 選定結果と考察

第一期は、七つの段階を経て49語、さらに第二期を経て41語、計90語の副詞を選定した(表6)。CSJで高頻度に出現した「けっきょく、なるほど、いちおう、わりと」などは、アンケート結果では得点が低かったため選ばれなかった。『出題基準』では2級である「いつか、がっかり、きちんと、そのまま、ちゃんと、ときどき、びったり、まあまあ」等が選定された。これまで初級教科書に掲載されていない副詞は「ああ、およそ、きらきら、じゅうぶん、すっきり、たっぷり、なかよく、なぜ、なにも、なんでも、びったり、まだまだ、まったく、より、よろしく、わざわざ」であり表7の*で示した。

表7 選定した副詞90語

第一期選定 (49語)				第二期選定 (41語)					
あまり	すこし	たくさん	とくに	まだ	ああ*	きちんと	ぜんぶ	なにも*	わざわざ*
いくら	ずっと	たとえば	とても	もう	いつか	きらきら*	そのまま	なんでも*	
いちばん	ぜひ	たぶん	どんだん	もし	いっしょうけんめい	けっこう	たったいま	のんびり	
いろいろ	ぜんぜん	たまに	なかなか	もちろん	いつでも	これから	たっぷり*	びっくり	
かならず	そう	だんだん	なるべく	もっと	いっばい	さきに	ちゃんと	びったり*	
きっと	そろそろ	ちょうど	はじめて	やっとな	いつも	さっき	どうして	まあまあ	
しっかり	だいたい	ちょっと	はっきり	やっばり	いろいろ	じゅうぶん*	ときどき	まだまだ*	
しばらく	たいてい	どう	ほとんど	ゆっくり	およそ*	すっきり*	とつぜん	まったく*	
ずいぶん	だいが	どうぞ	まず	よく	がっかり	すべて	なかよく*	より*	
すぐ	たいへん	ときどき	また		かなり	ぜったい	なぜ*	よろしく*	

5 おわりに

本稿では、初級日本語学習者のために初級日本語教科書、『日本語能力試験出題基準』、母語話者の副詞の使用実態を調べるために『日本語話し言葉コーパス』(CSJ)を参考にし、副詞を90語選定した。今回は、CSJの対話のみから副詞を抽出し、選定の参考としたが、決して十分なデータとはいえない。今後は他の話し言葉コーパスも参考に選定を試みる必要があると考えている。

〈恵泉女学園大学〉

国語学会(編)(1980)『国語学大事典』東京堂

主な資料

『みんなの日本語初級 I・II 第二版』(2012) スリーエーネットワーク
『新文化初級日本語 I・II』(2000) 凡人社、文化外国語専門学校編
『初級日本語げんき I・II』(1999) ジャパンタイムス
『できる日本語初級・初中級』(2012) アルク
『日本語初級1・2 大地』(2009) スリーエーネットワーク
『はじめよう日本語初級1・2』(2006) スリーエーネットワーク
『学ぼう! にほんご初級1・2』(2005) 専門教育出版
『日本語能力出題基準 改訂版』(2004) 国際交流基金・財団法人日本国際教育
『明鏡国語辞典第二版』(2010) 大修館書店
『日本語話し言葉コーパスの構築法』国立国語研究所報告書No.124

注

- [注1] …… 本稿では副詞を『国語学大辞典』(1980)の「品詞の一種で語形変化をもたず、単独で用言またはそれ相当の語句を修飾することを基本職能とする」とし、『明鏡国語辞典第二版』(2010)を参考に分類した。
- [注2] …… 『みんなの日本語』『新文化初級』『げんき』『できる日本語』『大地』『学ぼう日本語』『はじめよう日本語』の7冊である。
- [注3] …… 『日本語話し言葉コーパス』(CSJ)の第1版を使用した。全体で12.2時間分で、対話の話者は18名、内訳は男性10名、女性6名、インタビュアー2名である。講演数は学会講演が10、学会講演以外が16である。
- [注4] …… CSJから対話データ(短単位)のみを取り出しExcelで品詞ごとに分類し副詞を抽出した後、ピボットテーブル機能で副詞の頻度表を作成した。
- [注5] …… アンケートは、11名の日本語教師に行ったため、55点満点である。
- [注6] …… 『日本語能力出題基準 改訂版』に級が出ていない副詞は、リーディングチェックうたにかけ、級を確認した。「これから」は双方に出ていなかった。
- [注7] …… 初級・初中級・中級・上級の4つのレベルから55点満点のうち上位25%である43点～55点を初級の目安と考えた。

参考文献

秋元美晴他(2008)「新しい日本語能力試験のための語彙表・漢字表作成中間報告」『日本語学』9月号, pp.36-49. 明治書院
大関真理(1993)「日本語学習者用教科書の副詞語彙」『言語文化と日本語教育』5, pp.23-34. お茶の水女子大学日本語文化学会
中田智子(1991)「談話における副詞のはたらき」『副詞の意味と用法』pp.85-107. 国立国語研究所

